

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	深層学習を用いた腎生検画像の自動計測システムの開発		
1. 研究の目的と方法	私たちは、腎臓の予備能力を推定するため、腎生検の画像から「ネフロン数」を計算する研究をしています。しかし、ネフロン数の計算に必要な「糸球体密度」を求めるには、腎臓組織を細かく計測する必要があり、多くの時間がかかることが課題です。この研究では、AI（人工知能）を使って腎生検画像を自動で分析するシステムを開発します。過去に東京慈恵会医科大学附属病院で腎生検を受けられた患者さんの画像と診療記録を使い、AIに腎臓組織の特徴を学習させます。このシステムにより、糸球体密度の測定が簡単になり、より多くの患者さんのネフロン数を推定できるようになります。その結果、大規模な研究が可能となり、腎疾患研究の発展に大きく貢献すると期待されます。		
2. 研究期間	承認日～2030年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2017年1月1日～2024年12月31日の間に、東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科で腎生検を受けられた方が対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	腎生検で採取した組織の標本（プレパラート）を使わせていただきます。	
	(2) 試料の取得の方法	過去の診療で採取され、保管されている標本を使わせていただきます。	
	(3) 情報の種類	性別、生年月日、身長、体重、診断名、治療内容、検査結果（血液検査、画像検査）、腎生検に関する情報（腎臓の組織の状態、糸球体や尿細管などの数や大きさなど）。	
	(4) 情報の取得の方法	診療記録（カルテ）から必要な情報を抽出させていただきます。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者 または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座
		氏名	坪井伸夫
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座 戸崎武	
	(4) 共同で研究を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	施設とその 責任者	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 6 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科講座 研究責任者：准教授 坪井 伸夫 （つぼい のぶお） 電話番号：03-3433-1111 （内線：3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。